

土石流の発生を無線で通報

雨量計接続可・個別警報可
特定小電力無線

土石流警報システム

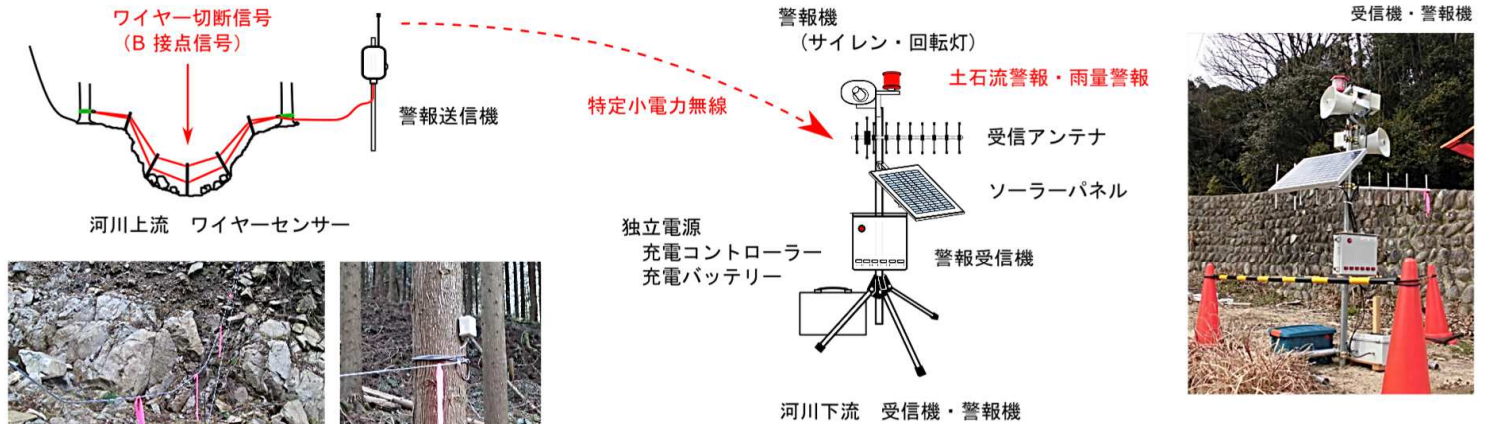
Debris flow detecting and alarming system

Think Fujii

ワイヤーセンサー対応
A・B各接点に対応
無線で送信
現場に応じて選べるシステム

シンク・フジイの 土石流警報システム

河川上流の土石流の通り道に張られた土石流センサー(ワイヤーセンサー)が切断されると、下流に設置された警報機(サイレン・回転灯など)で土石流の発生を知らせます。警報装置は様々なオプションから選択でき、現場に応じたシステムを作れます。



上記の警報システムを基本とし、他のオプション(雨量計やメール通報装置、屋内用個別警報装置など)を組み合わせて安全管理システムを構築することができます

土石流警報システムの特徴

・安価で設置が簡単

ワイヤーセンサー式とした場合、短時間で設置ができ安価です。ワイヤーは鋼線入りで150kg以上の張力が掛かなければ切れず、動物の接触や噛み切りなどによる誤報を防ぐことができます。送信機はB接点、A接点の両信号に対応し、ワイヤーセンサー以外のセンサーでA・B接点どちらかを出力する方式であれば接続が可能です。

・無線で送信

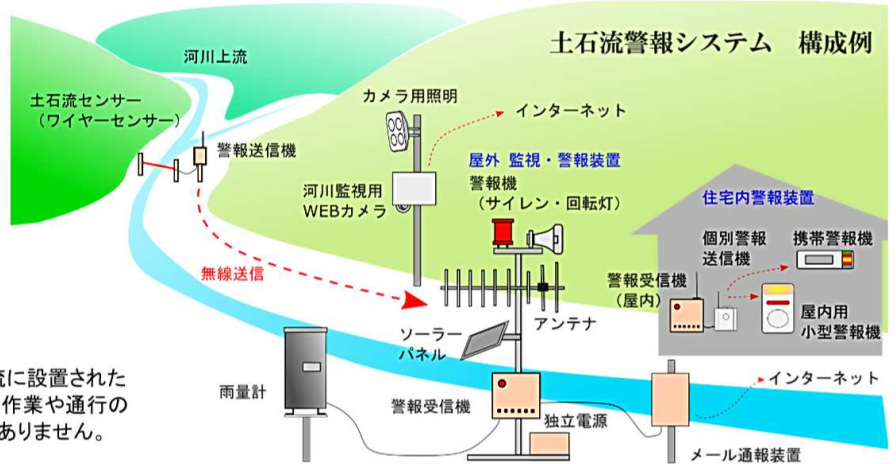
河川上流で起きたワイヤーセンサーの断線は送信機により下流に設置された受信機に無線で送信されます。敷設ケーブルが無いため、現場作業や通行の妨げにならず、装置撤去後に大量のケーブル廃材が出ることもありません。

・土石流発生箇所の識別

複数の送信機(5台まで)の信号を1台の受信機で受信し、個別に警報接点出力を得ることができます。このため、複数の土石流センサーが設置されている場合、どの土石流センサーで警報が発信されたのか受信側で識別できます。

・現場に応じて選べるシステム

下流の受信機には様々な警報装置(オプション)が接続可能です。お客様の要望に応じた警報システムを提案できます。必要な機能のみ選んで構成するため、無駄が無く安価で合理的なシステムとなります。警報機は屋外の現場に設置するものの他、受信機と警報機を住宅内に設置して、直接住民に警報を知らせることもできます。また、雨量計を接続して雨量警報を発令したりメール通報装置を連携させ、土石流の発生を離れた場所にいる関係者の携帯電話に通報することもできます。



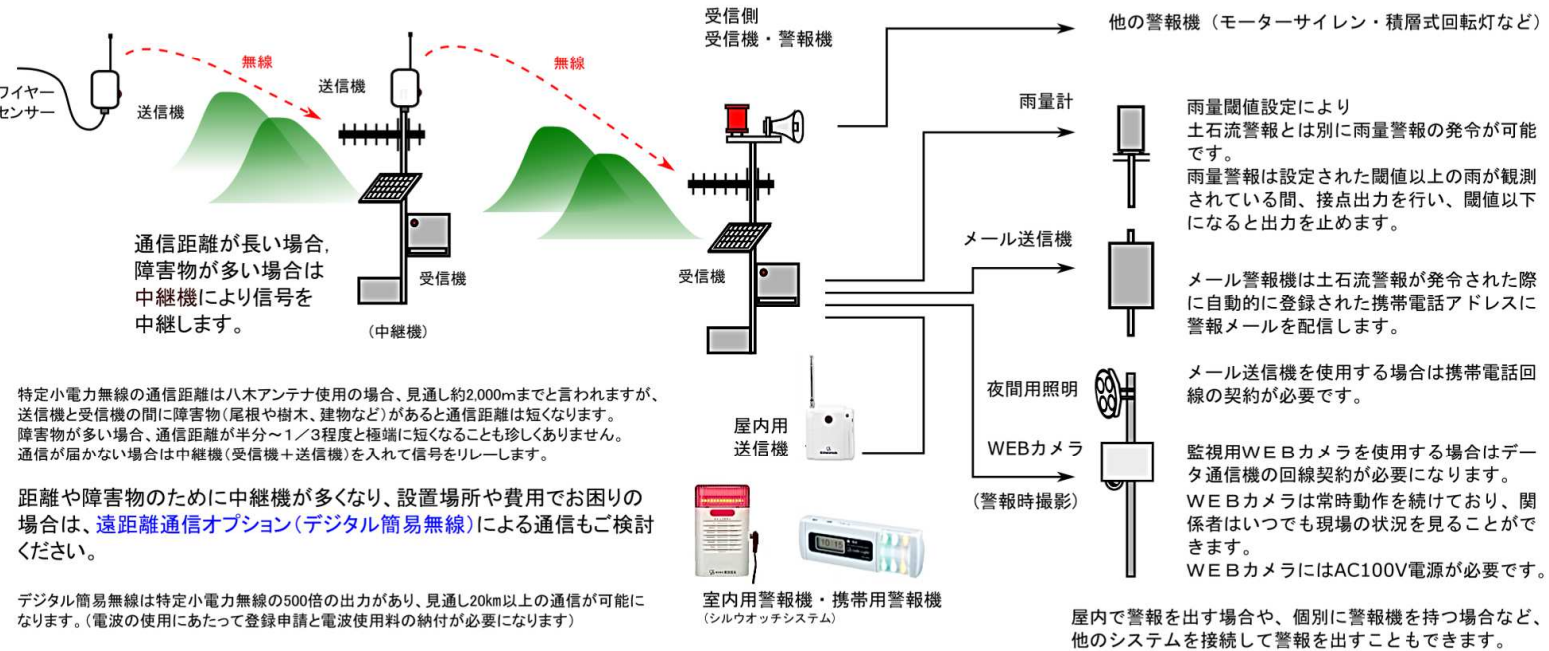


労働安全衛生法では土石流による危険がある場合、事業者が安全対策を講じることを義務付けています。

労働安全衛生法 第二編 安全基準 第十二章 土石流による危険の防止

(警報用の設備)第五百七十五条の十四 事業者は土石流危険河川において建設工事の作業を行うときは、土石流が発生した場合に関係労働者にこれを速やかに知らせるためのサイレン、非常ベル等の警報用の設備を設け、関係労働者に対し、その設置場所を周知させなければならない。事業者は、前項の警報用の設備については、常時、有効に作動するように保持しておかななければならない。

シンク・フジイ 土石流警報システム 主な実績



土石流が発生（警報機が動作）してからでは避難する時間が十分に取れないという場合は、土石流の発生を予測して先に避難しておくことが必要です。この場合、弊社の雨量情報提供サービス「アメクル」の併用をご検討ください。土石流は強い雨が続いた場合に発生します。「アメクル」は気象庁の雨量予測と連携して50分後に強い雨が予測される場合にスマートフォンや携帯電話にメールでお知らせします。また、現場に雨量計を設置して実際に強い雨が降った時もメールでお知らせします。これにより事前に避難するタイミングを知ることができます。

土石流警報システムの詳細については弊社ホームページをご覧ください。

土石流警報システムのページ
<http://www.fujii-kiso.co.jp/think/info200712d.htm>
アメクルのページ
<http://www.fujii-kiso.co.jp/think/amekuru.html>

注意事項：本製品は予告なく仕様を変更する場合がございます。

代理店

製造元
有限会社 シンク・フジイ
〒690-0011
島根県松江市東津田町1349
TEL 0852-23-8454
FAX 0852-25-2248
<http://www.fujii-kiso.co.jp/think>

